

令和元年度 東日本地域高等専門学校技術職員特別研修会

(電気・電子系) 参加報告

技術第2班 鈴木 大介

1. 目的

本研修会は、高等専門学校の技術職員(学科、教室、教育研究センター、実習工場及び練習船等における教育・研究の技術支援等に従事する職員)に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を習得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的としている。本研修の主管校は、長野高専であった。

2. 期間

令和元年8月26日(月)～8月28日(水)

3. 会場

長岡技術科学大学
マルチメディアシステムセンター1階

4. 日程

<1日目>

9:10～9:25 開講式

9:25～10:30 講演I

「長野高専の地域連携推進について」

長野高専 技術支援部長 古本 吉倫 教授

10:50～12:20 講義I

「デジタル信号処理の基礎

～欲しい信号を取り出す・創る技術～」

長岡技術科学大学 杉田 泰則 教授

13:20～14:50 講義II

「3D映像の基礎

～立体的に見える原理と実現方法～」

長岡技術科学大学 圓道 知博 教授

15:10～16:40 講義III

「最適化と機械学習の基礎

～最近のAIブームとは～」

長岡技術科学大学 坪根 正 教授

<2日目>

9:00～12:30 「研究開発技術等の

発表及び討議」

13:30～18:00 「研究開発技術等の

発表及び討議」

発表15分、質疑5分

<3日目>

9:00～10:30 長岡技術科学大学施設見学

・音響振動工学センター

・分析センター

説明者:長岡技術科学大学 技術職員

10:30～12:00 講演II

「科学と技能の共生が拓く未来 ～光学,QC,

歌声の研究からみえてくきたもの～」

長野高専 浅沼 和志 特命教授

12:30～ 閉校式

5. 研修会に参加して

1日目の講演Iでは、長野高専の地域連携について知ることができ、本校との違いや取り組み方について学ぶことができた。各講義については、基礎から応用まで幅広くしていただいた。自分自身が知ってることをさらに深く教えていただけて実りある講義であった。

2日目の研究開発技術等の発表及び討議では、他高専の技術職員が行っている教材製作、地域貢献活動、科研費、実験などの取り組みが紹介されて、積極的に質問し、意見交換することができた。私も、実験テーマの変更について発表させていただいた。

3日目の施設見学では、施設の大きさ、研究設備の充実度に圧倒された。各高専と連携して共同研究や他校にある装置の使用をする説明を受け、しっかりとした繋がりを感じた。

今回の研修会では、他高専の技術職員との交流ができ、自分自身の活力になる刺激の多い時間を過ごすことができた。この経験を今後の業務に活かしていきたいと考えている。